



「四日市港社会見学体験乗船」に参加しました。(3年生)

10月18日(水)の午前中、本校3年生は、中央小学校の3年生と1台のバスと一緒に乗って、四日市港社会見学体験乗船に参加をしました。最初に港で学校ごとに集合写真を撮り、その後乗船式がありました。船が出港し岸壁を離れると、子どもたちは班ごとに分かれ(本校は第3班)、船内でさまざまなイベントを体験しました。操舵室見学、ロープワーク、救命具の着用、船内探検ツアーと進み、最後に入港・係留作業を見学しました。

午前の体験乗船を終えると、中央小学校に寄ってランチルームで一緒に昼食をとりました。中央小学校の子と隣同士の席になって、自己紹介をした後、昼食を取りながら、好きなスポーツや運動会の練習の様子、午前中の体験乗船の感想などについて交流しました。中央小学校の現在3年生担任の先生が、昨年度まで本校に勤務されていたこともあり、子どもたちにとっては、思いがけない久しぶりの再会となり、大変喜んでいました。



今回の昼食時訪問では、中央小学校の3年生が、隣で一緒に昼食をとる本校の子どもたちのために、オリジナルの歓迎座席表を作ってくれていました。一人ひとりの思いが詰まっていて、子どもたちはとても喜んでいました。国語の授業内容で、誰かに向けて「手紙を書く」といった学習内容があるので、今後は、今回隣で話をした中央小学校のなかまに向けて、お礼の手紙を書く予定です。



運動会へのご参加、ありがとうございました。(裏面に続きます)

10月21日(土)、令和5年度の運動会を開催しました。前夜からの雨が少し心配されましたが、予定通り運動会を開催することができました。

開会式では校長から『①運動会のスローガン「地域の人と協力し、心をもやし、笑顔いっぱいの運動会にしよう」が達成できるように力を合わせましょう。②どんな結果になっても、一所懸命、元気を出して競技をやり切りましょう。③運動会の後半は、保護者や地域の皆様も一緒に参加していただく地域ふれあい競技の「玉入れ」と「水沢音頭の踊り」がありますから、みんなで楽しみましょう』といった話をしました。

<短距離走>

1年生50m、2、3年生80m、4～6年生100mの短距離走をしました。各学年、1つの組が3～4人となってレースを行いました。子どもたちは最後まで全力で走り切り、満足した様子を見せていました。1年生は初めての運動会で緊張していたと思いますが、しっかりとスタートを合わせ50mを走り切っていました。高学年の子は、あっという



間に100mを駆け抜け、日々の成長を感じました。ゴール前を中心に、観客席では、たくさんの保護者、地域の皆様が声援、拍手を送ってくださいました。子どもたちには励みになり、本当にうれしかったことと思います。短距離を走るのが苦手な子もいたと思いますが、どの子も力を抜くことなくゴールまで一所懸命走っている姿が印象的でした。放送係の子が、なかまが走っている姿を見て、アドリブで声援を送っている姿もあり、なかまが精いっぱい力を出せるように、盛り上げようと放送している姿が素敵でした。

＜団体競技＞

低学年(1, 2年生)「大玉ころりん」では、自分の身長よりも大きなボールを2人のペアでうまく操っていました。赤組、白組、ほとんど同時にゴールし、大きな拍手が起こっていました。中学年(3, 4年生)「台風の目」では、箱に入った球をひいて、出た球が赤か白かによって、走る距離が違っていました。大きくリードしていた組が、いつの間にか僅差になっていたりして面白かったです。高学年(5, 6年生)「全員リレー」は、すごく迫力がありました。練習では2位になっていた緑チームが、本番では最下位になっていました。とても悔しかったことと思います。バトンリレーの差だったと思いますが、こんな悔しい体験も日にちが経つといい思い出に変わります。競技を行う以上、必ず勝敗がつきますが、何よりもみんなが力を抜かず、全力で1つ1つの競技をがんばれたことが良かったと思います。そして、なかまが一所懸命やっている姿に、「がんばれー」とみんなが声援を送れたことも、心やさしく良かったと思います。

運動会当日までに、みんなで走る順番や動きを工夫し、事前に作戦を話し合ったりして、協力して取り組むことができました。自分のチームだけでなく、相手のチームを含め、なかまのことを応援している子どもたちがたくさんいたこともうれしく感じました。



＜地域ふれあい競技＞

今年度は、プログラム後半に「地域ふれあいの部」として、「玉入れ」と「水沢音頭の踊り」を種目として取り入れました。想定していた以上に、多くの保護者、地域の皆様に競技に参加していただきました。「玉入れ」では、子どもたちと一緒に童心に戻って競技していただいている方々がたくさんみえました。子どもたちのことを気遣いながらも、多くの球を入れようと競技に集中されていた方もみえ、微笑ましく思いました。合計6回の対戦の中で、赤組と白組のかごに入った球数が同数になったことがあり、大変盛り上がりしていました。「水沢音頭」では、「茶葉～ズ(ちゃば～ず)」の皆様大変お世話になりました。子どもたちと保護者、地域の皆様が一体となって、ふるさとの情景を歌った「水沢音頭」を踊ることができ、有意義なひと時を過ごすことができました。最初は、なかなか機器と音楽CDが合わず、戸惑った場面もありましたが、放送で踊り方の解説を入れていただき、踊りの手ほどきをしながらうまく進行していただきました。2回目は、即興で和太鼓のリズムも入れていただき、参加者の全員踊りで盛り上がりしました。



閉会式では、校長から「運動会は楽しかったですか？」と子どもたちに問いかけてみましたが、「楽しかった」と笑顔で元気よく子どもたちは返してくれました。「真剣に全力を尽くしている皆さんの姿は、本当に素晴らしかったです。また、それを応援する皆さんの姿も素敵でした。自分ががんばることはもちろん大切ですが、がんばっているなかまを一所懸命応援する気持ちは尊いものだと思います」とも話しました。

今回の運動会を通じ、子どもたちには、保護者、地域の皆様と一緒に玉入れをしたり、水沢音頭を踊ったりしたことがとてもうれしく、印象深く残ったようでした。また、保護者や地域の皆様には、運動会后、テント、机やいすの片付け、遊具の固定ビニールテープ外し、サッカーゴールの移動等、大変お世話になりました。心の温かさを感じました。本当にありがとうございました。(文責 北住 昌文)